

# 日本冷凍空調学会論文集 特集テーマに関する論文公募のお知らせ

日本冷凍空調学会論文集において「熱交換器に関わる最新技術(その3)」のテーマで特集を組み、下記の要領で論文を募集しております。奮ってご投稿を賜りますようお願いしております。

投稿締切日：2017年9月25日(必着)

発行予定：日本冷凍空調学会論文集 Vol. 34, No. 4 (2017年12月末日発行)に掲載予定。

## ■ テーマ：「熱交換器に関わる最新技術(その3)」

**背景と目的：** 地球温暖化問題を背景にした低GWP冷媒への転換、寒冷地対応や排熱回収による高温供給など、冷凍機・ヒートポンプを取り巻く環境は急速に変化しています。冷凍機・ヒートポンプの主要要素機器である熱交換器においては機器設置の観点からのコンパクト化だけでなく、熱交換温度差低減によるCOP向上、冷媒流路縮小による冷媒充てん量削減も大きな課題となっています。

これまで「熱交換器に関わる最新技術」として特集号が2回(2007年度、2009年度)企画されておりますが、その後、HFO冷媒や自然冷媒の導入、アルミニウム製多穴管を用いたオールアルミ熱交換器の空調機への適用など、冷媒流動も大きく変化しています。細径化によって、冷媒分配もより重要になっています。一方、IRカメラの普及やMEMS技術の展開、3次元プリンターの登場など実験技術も大きく進歩しています。学会活動では、2007年に先進熱交換器に関する調査研究プロジェクトが熱交換器技術委員会で立ち上げられ、情報収集と意見交換が活発に進んでおり、また、学会年次大会でも、熱交換器に関するオーガナイズドセッション、ワークショップにおいて多数の研究・技術開発が発表され、高い注目度があると感じております。

以上のような情勢を背景に、熱交換器に関わる最新技術に関する特集号を企画いたします。トピックは、熱交換器に係るものとして、次世代冷媒、伝熱促進、伝熱管の微細化・細径化、冷媒分配、熱交換器設計、冷凍機油の影響、流動の計測と可視化などの最新実験技術、数値解析技術に関する研究論文を幅広く募集し、工学的・工業的技術進歩に資することを目的とします。

**内容(キーワード)：** 低GWP冷媒、自然冷媒、混合冷媒、超臨界圧・凝縮・沸騰伝熱、伝熱促進・熱抵抗低減、冷媒量削減、細径化、数値解析技術、気液二相流、冷媒分配、熱交換器設計法、熱交換器とシステム性能、熱交換器構造、冷凍機油や不純物の影響、空気側の結露、霜、など

問い合わせ先：浅野等(神戸大学) [asano@mech.kobe-u.ac.jp](mailto:asano@mech.kobe-u.ac.jp)

執筆要綱：執筆上の注意事項は、本学会ホームページからダウンロードできます。

日本冷凍空調学会論文集投稿案内 URL：<http://www.jsrae.or.jp/touko/sample.html>

投稿先：〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町13-7 日本橋大富ビル5階

公益社団法人 日本冷凍空調学会 「特集論文」編集委員会

TEL: 03-5623-3223 FAX: 03-5623-3229 e-mail: [ronbun@jsrae.or.jp](mailto:ronbun@jsrae.or.jp)

※ 投稿頂いた翌日まではメールの返信で受領書をお送りしています。(土日祝日などをはさむ場合は、休み明けにお送りします)

万が一、3日たっても「受領書」が届かない場合は、事務局が受信していない可能性がありますのでお手数でもご連絡ください。(論文担当：古川)

※※ 「通常論文」と「特集論文」は校閲方式が異なる為、ご投稿の際は「特集への投稿」とお知らせください。(特集論文の校閲方式はエディタ制)

なお、特集論文に関しても、投稿区分「一般論文」または「オープンアクセス論文(OA論文)」のどちらでも選択できます。

## 投稿カテゴリー「オープンアクセス論文(OA論文)」について

日本冷凍空調学会論文集では、原稿種類「原著論文」の中に、速報性と投稿のし易さを考慮した投稿カテゴリー「オープンアクセス論文」を追加しました<sup>\*</sup>。この投稿カテゴリーの大きな利点は、エディタ制を基本とした迅速な校閲プロセスと、掲載決定次第にJ-STAGEでの早期公開です。

※「原著論文」には、「一般論文」と「オープンアクセス論文」の2つの投稿カテゴリーがあります。

なお、投稿カテゴリーに関係なく、論文表紙には「原著論文」と記載されます。オープンアクセス論文も一般論文と同様に「学術賞」の審査対象となります。

### ■「オープンアクセス論文」の概要

一般論文と同様に、著者の未発表の著作であって次の条件を全て満たすものです。

- a) 独創性：主題や内容、研究の手法に新規性または独創性があること
- b) 有用性：学術または技術上価値があること
- c) 発展性：学問体系や工学応用に将来性、発展性が期待できること
- d) 信頼性：内容に明白(あるいは重大)な誤りがないこと
- e) 完成度：論文全体の完成度があること

公開方式など下記条件が「一般論文」と異なります。

- ・ ページ数：6ページ以内。(一般論文は原則12ページ以内)
- ・ 投稿資格は問いません。(一般論文の場合は著者に会員を1名以上含む必要があります)
- ・ 掲載料(税込)：本会会員は5000円/頁、非会員は8000円/頁。(一般論文は3086円/頁)
- ・ 迅速に公開するために、エディタ制を基本とした校閲プロセスを採用します。
- ・ J-STAGE早期公開制度を利用して掲載決定次第Web公開し、オープンアクセスとします。これにより、世界中、会員以外の方からも閲覧が可能になります。
- ・ J-STAGE公開後、掲載巻号・ページを確定して年4回発行の「日本冷凍空調学会論文集」に収録されます。



<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/tjsrae/-char/ja>